

A C C E 同 窓 会 会 報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
豊田市陣中町1-21-1
TEL (0565) 32-8181

新会長ご挨拶



会長 山口正巳

目 標

初めまして、二代目同窓会長の山口です。学校を卒業してもう十年経とうとしています。最近ようやく世間に目を向けられる余裕ができました。新聞、テレビ、雑誌などに耳を傾けると不景気な話ばかりが聞こえてきます。

国内では、経済の長期低迷が続いて、二千年からは、デフレの状態に陥っています。会社は他社との競争激化のため、人件費コストを削減する動きが活発です。先行きの不透明さが払拭されない状況の話しばかりです。この様な状況の中、会社の建て直しを計って成功させ、さらなる発展を求めて世界へ進出する者もいます。改革を起こす行動力と人のつながりをより多く持つ者が、成功を掴みとれるの

です。

私は、この学校の同窓会を成功のきっかけとしたいと思えます。もちろん今までどおり楽しくおかしく、そして昔を思い出しながら騒ぐことも大事だと思います。しかし、それだけで終わるのではなく、ビジネスの話や情報を交換しあえる様な会にしたいと思えます。

最後に、一生懸命に務めさせていただきますので、よろしくお願ひします。

校長ご挨拶



校長 岩 義 夫
白 岩 義 夫

新たな十年を迎えて

A C E 同窓会々員の皆さん、それぞれの場でご活躍のことと存じます。本愛知工業大学情報電子専門学校で修得された技能を生かして、仕事に専念され、頑張っていると信じております。

ところで、現在のわが国を取り巻く状況は必ずしも明るくありません。長期の経済不況や企業の倒産、リストラなど不景気な経済問題や、通り魔殺傷事件や誘拐殺人事件など暗い社会的状況がマスコミを賑わしております。明るいニュースや話題が待ち遠しい限りです。

平成十四年度の卒業式に、私は卒業生に対するはなむけの言葉として、英国の詩人シェリーの「西風に寄する詩」の一節を贈りました。それは有名な「冬来たりなば、春遠からじ」という言葉でした。現状だけを憂ず、将来の明るさを求めて一人一人が元氣を出してくることを願うのでした。

ご存知のように、昨年 A C E は開校十年の創立記念の年でありました。そして、昨年春から始まった続く十年をさらなる飛躍の十年にすることを目標に学校内の諸設備の更新と充実、優れた技術専門家としての卒業生の輩出に向けて努力しようとしております。私も A C E の校長に就任して一年になり、専門学校を取り巻く状況が少しずつ分かってきました。専門学校も他の教育機関と同様に「少子化」

の影響を受け、志願者の数が減少傾向にありました。ここ数年間にわたって続いていました本校への2ヶタの入学者の数が昨年度と今年度連続して3ヶタに乗りました。次の目標は卒業生を3ヶタになるよう、落伍者を最小限にしながら教育していくことです。教職員一同頑張ろうとしております。同窓会々員の皆様の一層のご支援を期待しております。

同窓会総会実施

平成十四年十一月二日に同窓会総会ならびに懇親会を実施しました。

総会においては、この度、新任された山口会長はじめ、新役員の紹介のあと次の様な議題が討議、可決されました。

- ① 平成十四年度の収支報告
 - ② 役員の任期の設定→現状は無制限のものを四年入替(半数を二年毎に入替)とする。
 - ③ 同窓会の開催を二年毎とする。(現状は毎年実施)
 - ④ 同窓会へのメールアドレスの登録依頼(案内等をメール送信したい為)
- 又、同窓会設立当時から運営に携わっていただいた、水谷会長はじめ、旧役員の皆様には、本当にご苦勞様でした。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。今後ともよきアドバイザーとして同窓会を支えていって頂きたいと思ひます。

▼ 新役員の皆さん

| | | |
|-----|-------|-------------------|
| 会長 | 山口 正巳 | H 6 / 電子制御学科卒 |
| 副会長 | 渥美 雄大 | H 8 / 電子制御学科卒 |
| 副会長 | 市川 佳希 | H 10 / CAD・CAM学科卒 |
| 会計 | 増田 誠治 | H 6 / 情報工学科卒 |
| 監査 | 山内 英裕 | H 6 / 高度情報学科卒 |
| 幹事 | 上島 久典 | H 6 / 情報工学科卒 |
| 幹事 | 飯田 顕生 | H 6 / 情報工学科卒 |
| 幹事 | 佐野 雄一 | H 7 / CAD・CAM学科卒 |
| 幹事 | 小池 博子 | H 7 / 経営情報学科卒 |
| 幹事 | 山崎 裕之 | H 10 / CAD・CAM学科卒 |
| 幹事 | 大津 久幸 | H 12 / 高度情報学科卒 |

| | | |
|----|-------|-------------|
| 顧問 | 山田 一敏 | 高度情報学科教授 |
| 顧問 | 橋本 秀則 | CAD・CAM学科教授 |

▼ 退任者の皆さん

| | | |
|----|-------|------------------|
| 会長 | 水谷 英治 | H 6 / CAD・CAM学科卒 |
| 監査 | 田中 健 | H 6 / 電子制御学科卒 |
| 幹事 | 平岩 直貴 | H 6 / CAD・CAM学科卒 |
| 幹事 | 伊串 健一 | H 6 / 情報工学科卒 |
| 幹事 | 松原美奈子 | H 6 / 経営情報学科卒 |



メールアドレスの登録をお願いします。
dousou@ace.aitech.ac.jp

(本校ホームページからでもOK)

<http://aitech.ac.jp/ace/>

卒業生だより



副会長 湯 美 雄 大

新しいスタート

専門学校の卒業生の皆様、先月日が経つのは本当に早いもので、私が専門学校を巣立つてから、はや七年が過ぎました。卒業後、(株)鈴鹿テクトにて、通信関係の設計・監督業務に携わる一方で、近畿大学法学部にて通信教育を受けておりましたが、昨年三月に六年の歳月をかけて、無事に卒業することができました。

また、仕事の方も昨年大きな転機を迎えました。私が勤務しておりました、(株)鈴鹿テクトが今年一月に(有)テクトサービス(通称・デイサービスセンター「大家族」)を設立し、老人介護のデイサービスを始め、私も一月より介護職員として働いております。ホームヘルパー二級の資格を取得し、今までと全く違う職種に就いた訳ですが、あらためて介護という仕事の難しさを痛感しております。しかしながら、これから更なる高齢化社会を迎える上で大変やり甲斐のある仕事で



副会長 市 川 佳 希

父親になつて

月日の流れるスピードは正に、「光陰矢如」と身に染みて感じる今日この頃、私がアイシン・エンジニアリング(株)からアラコ(株)に転向して五年の歳月が経ち、六年目を迎えています。(諸先輩の方々から見れば若年者ですが、)車の内装を手掛けた五年間を振り返ると、「激動する時代背景」というキーワードが相応しく、というキーワードが幅広くにしろキャパットから統合CAD、キャティアへとCAD一つとってもより効率の良いシステムに転換し、車の内装にしてはメーカーニーズからユーザー視点での物造りに考え方を変えている中、「激動スピード」仕事の効率化」と自負しているからです。私生活においても、長男誕生にて親としての責務と家族を守る義務を実感しています。

もあると思いますし、利用者さんから「あなた、若いのに、男なのにこんな仕事して、本当にえらいね。感心するよ」なんて言葉をいただくことごく嬉しいです。大きな財産になりますね。

たつた五人のクラス



幹 事 小池博子 (旧姓 矢野)

私がこの学校に入学したのはかれこれ十年も前になります。たくさんさんの友達と思い出が作られてとても楽しい二年間でした。私のクラスはたつたの五人、後にも先にも秘書科という学科の卒業生は私達五人だけ。たつた五人だから当然五人はいつも一緒に団結力も強くいつも賑やかでそれぞれ個性が強く性格もバラバラ、きつと秘書科が四十人いたらこの五人で仲良くなつてないだろうとよく話してた位。だから五人で良かったなと思えました。

みなさんも承知かとは思いますが、仕事と家庭を両立するのは非常に難しいですが「家庭あつての自分、仕事あつての家庭」です。両者欠ける事なく両立する事が自分自身の幸せと思えますので、これからは公私共に前向きに進んでいきます。最後にスピードに対応するには即断即決と有言実行と諦めな心だと認識しています。今年度も宜しくお願いします。

就職・編入状況



平成十四年度卒業生就職内定率は八十六%で残念ながら前年度を5%下回った。学校が豊田市に在ることの影響か、就職が内定した会社のうち、トヨタ関連の仕事をしている会社が四十四%となつている。内定した企業のうち、初めて内定した企業の数が三十七%と前年度とほぼ同じで新しい企業の開拓が進んでいる。大学への編入学を希望した学生十二人全員が愛工大(七人)と中部大学(二人)、愛知工科大(二人)、名古屋商科大(二人)へ合格した。

付き合いをさせてもらつていまして、それぞれ生活や環境は十年前とは変わっているけど、会うとやっぱり変わらないねと思えます。二年間で勉強した事や取得した資格と共に学生生活での思い出は私の財産だと思えます。不思議な事に勉強した事はほとんどん忘れていくのに思い出は忘れないんですよ。これからも友達と先生と良い関係でいられたらいいなと思つています。

資格案内と取得状況

卒業生の皆さんにも、本校で受験していただける資格があります。慣れ親しんだ環境でチャレンジしてみたいかがでしょうか。

平成十五年度の例を下表にまとめましたので参考にして下さい。尚、日にちに若干のズレはありますが、毎年同時期に開催されます。詳しくはお電話、又はメールでお問い合わせ下さい。また、平成十四年度の資格取得状況を左表に示します。

新しくMOUS試験(マイクロソフト認定技術者試験)にチャレンジする事にしました。初めてのチャレンジですが、九十九名受験し合格率は九十五%を達成する事が出来ました。これからは、社会的動向をよく把握し、よりの確な資格取得を目指していきたいと思えます。

▼ 外部受入れ可能な資格

| 資格名 | 試験日(H15年度) | 願書締切 |
|------------------|------------|------|
| 情報処理活用能力検定 | 6/15 | 4/末 |
| ↑ | 12/14 | 10/末 |
| C言語プログラミング能力認定試験 | 7/12 | 5/初 |
| ↑ | 2/7 | 11/初 |
| CAD利用技術者試験 | 6/15 | 4/中 |
| ↑ | 11/16 | 9/中 |

| 試験の種類 | 1級 | 中級 | 2級 | 準2級 | 初級 | 3級 | 計 |
|---------------------------|----|----|---------------|-----|-------|----|-----|
| 1 ソフトウェア開発技術者試験 | | | 旧第1種情報処理技術者試験 | | | | 1 |
| 2 基本情報技術者試験 | | | 旧第2種情報処理技術者試験 | | | | 3 |
| 3 システムアドミニストレータ試験 | | | | | 5 | | 5 |
| 4 情報処理技術者能力検定試験 | 19 | | 39 | | | 52 | 110 |
| 5 情報処理活用能力検定試験 | | | 33 | | | 28 | 61 |
| 6 C言語プログラミング能力認定試験 | | | 23 | | | 39 | 62 |
| 7 Illustratorクリエイター能力認定試験 | 1 | | 6 | | | | 7 |
| 8 Photoshopクリエイター能力認定試験 | 1 | | 6 | | | | 7 |
| 9 CG検定試験 | | | 1 | | | 16 | 17 |
| 10 画像処理検定 | | | | | | 3 | 3 |
| 11 PageMakerクリエイター能力認定試験 | | | | | | 5 | 5 |
| 12 デジタル技術検定試験 | | | | | | 5 | 5 |
| 13 I事担任者試験(デジタル1種) | | | | | | | 2 |
| 14 CAD利用技術者試験 | 1 | | 9 | | | | 10 |
| 15 CADトレース技能審査 | | 10 | | | 12 | | 22 |
| 16 トレース技能検定試験 | | | | | | 26 | 26 |
| 17 日本語ワードプロセッサ検定試験 | | | 1 | 3 | | | 4 |
| 18 Excel表計算処理能力検定試験 | | | | | | 28 | 28 |
| 19 日本語能力検定試験 | | 2 | 12 | | | 34 | 48 |
| 20 MOUS試験 | | | | | 般 試 験 | | 95 |

学科だより

高度情報学科

教授 山田 一敏

卒業生の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

高度情報学科の近況について就職、資格取得、授業内容の順に報告させていただきます。

まずは、就職状況ですが、卒業生は九名で内八名が就職、一名は海外で事業をする予定です。就職先は、(株)ヒコナレッジに二名、(株)テクノアスカに二名、(株)プリント回路設計に二名、(株)日本データコントロールに一名、(有)日本コンピュータコミニケーションに一名でした。相変わらず求人好調で、全員がコンピュータを扱う仕事に就けて満足しています。

次に資格取得ですが、初めてMCP一名合格者を出すことができましたが、ソフトウェア開発技術者一名など国家資格は低調な結果になってしまいました。春休みに対策講座を自ら実施し、少々手ごたえを感じましたので、五月末を契機にしています。また、今回合格レベルに達しなかった学生もかなりパワーアップできたと思います。全員が二年十月に合格できるよう、あと半年、鬼になって指導したいと思っています。

最後に授業内容ですが、二年後期のデータベース演習でORACLEを使用することになりました。二期コマなので、まずはSQL、Oracle入門テキストに合格し、Silver取得を目指します。将来的にはGoldが取得できるカリキュラムにしたいと思っています。

話が変わりますが、一昨年卒業されたみなさん、卒業アルバムの作成が遅くなりましてすみませんでした。この場を借りましてお詫び申し上げます。昨年度メールアドレスを載せました。あまり反応がありませんでした。なんでもいいのでメールください。

Email:yamada@ace.ait.ac.jp

情報工学科

教授 森島 茂樹

卒業生のみならずお元気ですか。情報工学科の近況をお知らせします。

平成十五年度の入学式が四月八日に行われ、情報工学科に四十二名の新生を迎えることができました。

入学して授業開始から早一ヶ月が過ぎ、少しずつ新しい学校生活に慣れた頃だと思えます。方や先輩の二年生は年々厳しく

なる就職活動の真っ只中で求人票を見ながら悪戦苦闘しております。専門学校生の就職活動と言えば武器になる資格取得が重要ですが、情報工学科の目標資格は企業で必要とされる資格を的確に情報を収集し、タイムリーに授業へ取り入れることで学生の就職活動に大きく影響されます。また、年々ネットワーク関連の資格が重要視され、本校でも平成十五年二月にマイクロソフト認定技術者資格試験(MCP)を初挑戦し、二名の学生が合格致しました。また、平成十六年二月にはシスコ認定試験(CNA)にも初挑戦する予定になっております。今後ネットワーク関連の資格は積極的に取り入れていきたいと思っております。

また話は変わりますが、本年度の設備更新について紹介したいと思います。今まで本校でインターネットをする場合、愛知工業大学経由でSINET(学術ネットワーク)を使用していたのが、今年四月から地元のアメニエに接続し快適な環境でアクセスできるようになりました。またメールもMSサーバを更新し今までFDでメーラーを起動し使用していましたが、どのパソコンからでもブラウザ(IE等)を起動すればWebMailとして利用できるようになりました。今後も学生サービスとしてより良い環

電子制御学科

教授 掛布 英辰

卒業生のみならずお元気ですか。電子制御学科の近況をお知らせします。

昨年度の卒業生(平成十五年三月卒業)についてですが、卒業生十一名のうち、愛知工業大学へ編入した者が四名、他大学へ編入した者が二名、他の専門学校へ進学した者一名、就職が四名でした。

新二年生は二十名ですが、約半数の者が愛知工業大学を始め、大学への編入を希望しております。就職希望者については、早い者は、三月から就職活動をしており、この原稿を書いているときには、残念ながらまだ内定者は出ておりませんが、今年度の新一年生は、二十七名で、このうち約七割が大学への編入を希望しております。

大学への編入希望者の割合は、他学科と比べ、電子制御学科の学生に多いように思います。

学科としては、昨年度から大きな変化はありませんが、資格試験で、従来のエクセル検定に代わり、マイクロソフト社主催のMOUSを受験することになりました。受験料がかなり高額ですが世界的な認定試験ということなので就職にも少しは有利かなと思います。

次に卒業制作のテーマについてですが、従来から行ってきたテーマに加え、今年度は、プログラムを組むことにより任意の電子回路を実現可能なFPD(Field Programmable Device)を加えました。現在、これを使って実際に電子回路の設計をしている卒業生の方もいます。最新の情報を提供していただけるとうれしいです。

米年度のテーマにはRoboticsに挑戦すべくサッカロボットの製作を取り入れたいと考えています。我々もこれに向け準備をしていくつもりです。

CAD・CAM学科

教授 橋本 秀則

卒業生の皆様、お変わりありませんか。CAD・CAM学科は、おかげさまで元気で、一昨年の入学者数(三十三名)を更に上回り本年度は三十六名(CADエンジニアと合わせると四十名)でCAD実習設備はフル回転といった状況であります。これも各方面での皆様の活躍による

就職率の高さが要因の一つと考えられると思います。今後も、本校そして本学科の発展の為にますますの御健闘をよろしくお願いいたします。

さて変わったところでは、CAD・CAM学科の常勤として新たに山内先生が仲間入りされました。民間での経験を十分活かした授業、指導に期待したいと思っております。

又、CAD設備ですが、自動車業界では「CATIA」が主流になっている事より、本校でも企業の動向を見据えた上で対応していきたいと考えています。ただCADは一つの道具にすぎないという事は十分認識させた上で、作図モデリングの考え方を重点的に指導していきたいと思っております。

最後に最近の履修科目を掲げ、目新しい科目もあると思います。是非一度、来校いただき話を聞かせてもらえれば幸いです。

| 科目 | 学年 | 講師 | 科目 | 学年 | 講師 |
|----------|----|-------|------------|----|-------|
| CAD2次元2 | 1 | 橋本 秀則 | CAD論 | 1 | 山内 先生 |
| CAD3次元1 | 1 | 橋本 秀則 | 工業数学 | 1 | 山内 先生 |
| CAD試験対策1 | 1 | 橋本 秀則 | 機械設計 | 1 | 山内 先生 |
| 機械材料 | 2 | 橋本 秀則 | 材料力学 | 1 | 山内 先生 |
| 機械工作 | 2 | 橋本 秀則 | 機械学 | 1 | 山内 先生 |
| 生産関連基礎 | 2 | 橋本 秀則 | 油圧 | 1 | 山内 先生 |
| 生産加工 | 2 | 橋本 秀則 | センサ | 1 | 山内 先生 |
| 製図演習 | 2 | 橋本 秀則 | 電気・電子基礎 | 1 | 山内 先生 |
| 機械設計製図 | 2 | 橋本 秀則 | 丸鋸・チェーンソー | 1 | 山内 先生 |
| CAD3次元2 | 2 | 橋本 秀則 | 丸鋸・チェーンソー | 2 | 山内 先生 |
| CAD3次元3 | 2 | 橋本 秀則 | ワード・エクセル演習 | 1 | 山内 先生 |
| CAM | 2 | 橋本 秀則 | パソコンCAD演習 | 1 | 山内 先生 |
| 卒業実習 | 2 | 橋本 秀則 | 機械製図 | 1 | 山内 先生 |
| CAD試験対策2 | 2 | 橋本 秀則 | CAD2次元1 | 1 | 山内 先生 |
| CAD試験対策3 | 2 | 橋本 秀則 | | | |

トピックス



学生ホールにパソコンを開放

平成十五年度より学年ホールと実習室を新たに作り直しました。近年の就職活動は、半数以上がインターネットによる応募となつて来ており、活動方法は以前と比べ随分と様変わりしています。そこで本校でも、就職活動を援助する為に「学生ホール」を設置し、いつでも自由に使えるパソコンを十台導入しました。(場所は以前、喫茶店「ウィーン」として利用していた場所を整備しました)

様変わりした様子を是非一度見学に来て下さい。元担任よりお茶などサービスさせて頂きます。

また、授業の面でも「より実践的授業」を目指し、実習教科を増やしたカリキュラムに変更しました。そこで、以前は一般教室だった三〇六教室を整備し、新規にパソコンを導入して、実習室として使用しています。

平成十四年度卒業式

平成十五年三月十九日に本校において行われ、五十六名が卒業しました。

また毎年、母校からの推薦を受け、同窓会より贈つています同窓会長賞には、情報工学科インターネット専攻の木田川航君が受賞し当日、山口会長より賞状と記念品が渡されました。なお、学科別の卒業生数は、次の通りです。

- 高度情報工学科 九名
- 情報工学科 二十三名
- 電子制御工学科 十一名
- CAD・CAM工学科 十三名



▲同窓会会長賞を授与する山口会長

平成十五年度入学式

平成十五年四月八日に行われ百十四名が入学しました。

今年は昨年度に比べ若干マイナスとなりましたが、それでも例年よりは多い入学者数となりました。入学後のアンケートによると、大学への編入希望者が昨年よりも更に増加傾向にあります。専門学校で資格を取り、大学で幅広い知識を身に付けるというスタイルが少しずつ進んでいるのでしょうか。

なお、学科別の入学者数は、次の通りです。

- 高度情報工学科 十一名
- 情報工学科 四十二名
- 電子制御工学科 二十五名
- CAD・CAM工学科 三十六名



▲新入生代表による誓いのことば

平成十五年度 常 勤 者



- 写真前列右から
- 島 悦郎 (高度情報工学科)
 - 棚橋寅之祐 (就職部)
 - 中根 貞夫 (事務部)
 - 白岩 義夫 (校長)
 - 中島 勤 (校長補佐)
 - 池山久美子 (事務部)
 - 掛布 英辰 (電子制御工学科)
- 二列目右から
- 坂本 貴子 (高度情報工学科)
 - 橋本 秀則 (CAD・CAM工学科)
 - 高井 一彦 (事務部)
 - 山田 一敏 (高度情報工学科)
 - 田中 正史 (電子制御工学科)
 - 森島 茂樹 (情報工学科)
- 三列目右から
- 深田 祥子 (事務部)
 - 河合 忍 (情報工学科)
 - 新井 官尋 (事務部)

新任者ご挨拶



CAD・CAM学科 山内 康 義

よろしくお願い致します。

平成十五年四月一日より常勤講師として、ACEの皆さんの仲間に入れていただき、CAD・CAM学科で機械製図、生産加工等の授業を担当しております。

時の移り変わりの激しい現在において、市場は常に新しい製品を要求しています。それに伴い企業、特に製造業では製品開発のスピード化、環境にやさしい製品の開発等に対応するため、新入社員であっても社内教育を省き、即戦力として職場で活躍できる有能な人材の必要性を強く感じています。

そのことを考えるに、今後ますますACEで充分な専門教育を受けた学生のニーズは高まっていくでしょう。

過去二十数年間に渡り、企業での設計業務を通じて得た「know how」を活かしつつ、常に最先端技術の情報を取り入れた授業をすることにより、一般社会においては企業が必要としている人材を輩出できるように教育を心掛けていきます。

また、いつも新しいものに挑戦する意欲ある学生になられるよう微力ながら力になります。

専門学校ホームページが新しくなりました

2003. 5. 1よりリニューアルいたしました。

<http://aitech.ac.jp/ace/>

同窓会の連絡等にも使っていきたいと思えます。

是非一度「卒業生の皆様へ」をクリックして下さい。

